



古賀市記者懇談会（8月）

令和4年8月25日（木）13時00分～

会場：応接室 A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

①古賀市ブランド「焦がし商品」をこだわりおせちで開拓【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは 商工政策課 藤本＝092-942-1176）

古賀市ブランド「焦がし商品」として、有限会社久松と食品加工団地の企業とのコラボで完成したこだわりおせち。企業間のコラボによる焦がし商品は、初の試みです。

商品はふるさと応援寄附の返礼品として限定出品し、市と食品加工団地両方のPRにつなげていきます。

②「配送荷物発送代行サービス事業」で市内企業を後押し【P3】

【古賀市役所】（問い合わせは 商工政策課 吉武＝092-942-1176）

新型コロナ感染拡大の影響で巣ごもり消費が増加し、市内中小企業でもオンライン販売など、販路拡大のための新たな販売形態への転換が求められています。一方、昨今の燃料費高騰に伴う運送コストの増加などを背景に、オンライン販売への事業参入が困難な状況にあります。

このような市内企業の課題解決のため、古賀市商工会は「配送荷物発送代行サービス事業」を新たに開始しました。商工会のスケールメリットを生かし、運送事業者と一括契約することで、会員事業者の荷物を一括で集荷し、配送料を安価に抑える取り組みです。会員事業所の配送コストを低減することで、オンライン商取引市場への参入を後押しします。

③県内の公園初 「ベビー用 紙おむつ自動販売機」の設置【P4】

【古賀市役所】（問い合わせは 経営戦略課 星野・大川＝092-942-1346）

「おむつを忘れた」「おむつが足りなくなった」。そんな子育て中の方の不安を解消できるよう、市内2か所の公園に、ベビー用の紙おむつ自動販売機を設置しました。

この自動販売機では、飲料のほか「紙おむつ」と「おしりふき」を購入することができます。設置済の古賀グリーンパークと花鶴が浜公園は、子育て中の家族連れが多く、滞在時間も長いことから多くの利用を見込んでいます。

設置のきっかけは、公園の利用状況を把握している子育て中の公園施設担当職員が、ショッピングモールなどに設置されているニュースを見て、子育て世代が多く訪れる公園でもニーズがあると考え、ダイドードリンク(株)様にアプローチし、公園として県内で初めての設置に結びつきました。

④A I オンデマンドバス「のるーと古賀」の運行を開始【P5】

【古賀市役所】（問い合わせは 経営戦略課 横山＝092-942-1113）

10月1日から、花鶴丘、日吉、美明の3地区でA I（人工知能）を活用したオンデマンドバス「のるーと古賀」の運行を開始します。

高齢化率が高く地理的に移動が困難なエリアなどでは、域内交通に対する地元の要望が依然多い状態です。そのため、従来の西鉄バス路線を維持したまま、新たにオンデマンドバスを導入することで、地域の交通需要に対する課題解決と持続可能な交通体系の確立をめざします。

⑤セミセルフレジの導入で市民の利便性向上へ【P7】

【古賀市役所】（問い合わせは 上下水道課 大砂＝092-942-1129）

古賀市上下水道課では、上下水道料金及び証明手数料などを円滑に収受するため、非接触型のセミセルフ方式を新たに導入します。窓口利用者と職員との接触機会を減らし、安心・安全な窓口環境を整備します。

日々行うレジの締め作業や現金の集計作業が軽減され、窓口業務の効率化が期待できるだけでなく、現金の収受誤りのリスクも無く、取引が迅速になるため、市民の利便性向上に寄与します。

【お知らせ】

・古賀を歩こう！鹿部山発掘50年記念ウォーク【P8】

【教育委員会】（問い合わせは 生涯学習推進課 荒川＝092-942-1347）

1972年に鹿部山遺跡群の発掘調査が行われてちょうど50年。節目の年を記念した第22回市民ウォーキングを実施します。

イベントの目玉は歴史資料館館長が現地を案内する特別コースで、古賀市の歴史に精通する館長と、一緒に歩きながら歴史を学ぶ貴重な機会になっています。また、鹿部山公園内に「古賀を知ろうクイズ」のパネルを数か所設置、発掘調査で分かったことをクイズ形式で出題し、正解者には古賀の特産品が当たる楽しく学べるイベントを用意しています。

大人から子どもまで、ふるさと「古賀」の歴史に思いをはせてもらう機会になることを期待しています。

【お知らせ】

・快生館鹿の湯酒まつり in 古賀市薬王寺【P10】

【古賀市役所】（問い合わせは 経営戦略課 栞＝092-942-1113、

イベント詳細は ㈱SALT 宿野部＝080-4446-1116）

まだまだ残暑厳しい9月。薬王寺温泉の湯船に浸かり、自然栽培米で作られたお酒や、麦を使ったクラフトビールを楽しみながら快生館や薬王寺、水辺公園の自然を満喫しませんか？（山の壽宗像日本酒プロジェクト、社の蔵風の民土の民、ひのさとブリュワリーさとのBEERなど）

安心して子どもを産み育てられる社会の実現に向け、「子ども・子育て市民委員会」を立ち上げ【P12】

■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 川原、大川＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・ 9月21日（水）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室A
- ・ 10月24日（月）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室A